

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.22

令和5年1月23日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

努力と自分を信じる強い気持ちを

既に3週間前になりますが、私にとって正月番組で欠かせないのが、『相棒・元日SP』と箱根駅伝、そして『芸能人格付けチェック』です。随分前は、ここに天皇杯サッカー決勝が加わっていましたが…。

さて、この『芸能人格付けチェック』を観た人は少なくないと思います。高級品と安物を見分けて、一流芸能人・普通・二流・三流…とランキングするバラエティー番組ですが、今回は2年ぶりにGACKTさんが復帰しました。全問正解して連勝記録を伸ばせるかワクワクしながら観ていました。果たしてGACKTさんが個人71連勝とさらに記録を更新！一方では、ヤラセを疑う人もいますが、現場では“GACKT vs 格付けチェックスタッフ”という空気がピリピリ感じられるといい、疑惑を一蹴しています。

こうしたことを聞くと、「GACKTって“すごい” “物知りなんだね”」で終わってしまいそうですが、数年前に間違えない理由を知って驚きました。

「もともと自分が知らないことでも、知らないからできないじゃなくて、勉強すればできるんだってことを見せたいというのがあったんです。勉強しているというか、知識をアップデートしているというほうが正しいかな」と語っています。さらに、「僕もわからないことはあるよ。ただ、“わからない”で諦めるのではなく、わからない中で出題者の傾向やその場で見極められる情報から推測していくんだ。心理戦ともいえる」と。

テレビの画面からだけでは伝わらない、人の見ていないところでものすごい努力や考察をしていることを知り、GACKTさんの見方が変わりましたし、好きになりました。

もう一つは、正月恒例の箱根駅伝から。ある年、A大学が2年ぶりに総合優勝を果たしましたが、その4区を走った4年生のY選手は、過去3年間一度も箱根を走っていませんでした。10人の選手が走る中でいつも11番目、つまり補欠だったといいます。そのY選手が区間新記録を出し、優勝に大きく貢献したのです。

このY選手ですが、小学校3年生のマラソン大会ではビリから3番目であったのが陸上を始めるきっかけだったそうです。当時好きだった女の子が「足の速い男の子が好き」と話しているのを聞いて走り始めたといいます。大学で陸上部に入部した時には、下から4番目の実力でしかなく、強い先輩や力のある後輩がたくさん入部してくる中で、ただ黙々と努力を続けました。それこそが自分の持ち味だとわかっていたからです。Y選手は、「ないものをねだるよりも、あるものをうまく生かそう」といつも思っていたといいます。



GACKTさんとY選手の共通点は、努力と自分を信じる強い気持ち！そこから発せられる言葉にも重みがあります。きっかけは何でもOK。夢中になれることを探す努力を忘れたくはありません。



28日(火)には、家庭教育学級ひまわり広場オンラインも予定されています

【まなびクラブ】

3年：7日、14日、
4年：3日、10日、17日

【授業参観】

分割せず 13:35 から一斉参観です

1	水	委員会活動、SC相談日、引落日	15	水	クラブ活動、SC相談日
2	木	新入学説明会、新体操授業⑤	16	木	新体操授業③ _{2,3}
3	金	新体操授業④	17	土	PTA資源回収
6	月	八中訪問&参観⑥	21	火	授業参観・懇談会①②
8	水	定例研 13:10 下校	22	水	授業参観・懇談会③④⑤
10	金	あすチャレ(アスリートから学ぶ)⑤	24	金	感謝の会・懇談会⑥
13	月	新体操授業⑦・③ ₁	27	月	4校時日課(～3/3)13:30 下校

ホワイトスクール(5年生)を終えて

2泊3日で長野県アサマ 2000 パークスキー場での宿泊学習を無事終えて13日に帰校しました。3日間、素晴らしい青空の下、経験値に合わせて10名前後の7グループに分かれてスキー体験をしました。初心者はなだらかな斜面を滑り降りることができるようになり、グループによっては中・上級者コース挑戦もできました。



声をかけ合い、時間を守るなどけじめある集団行動ができ、多くの思い出とともに一回り成長する機会になりました。事前の体調管理や準備等、ご協力ありがとうございました。

■幼児座席に

小学生以上が乗るのは？

子どもを自転車の前や後ろに乗せて走る姿はよくあります。

でも、後部座席が「幼児用座席」で、ここに小学生以上を乗せていることはないでしょうか？千葉県道路交通規則施行細則には、乗車できる者を「小学校就学の始期に達するまでの者」と明確に定めています。つまり小学生以上は「違反」なのです。実際、「何歳まで乗せていいのかな」と思いつつも、必要に迫られてといったケースは少なくないかもしれません。

でも、走行中や停車中にバランスをとることが難しくなるほか、ブレーキをかけてから止まるまでの制動距離も伸びてしまいます。

交通事故を起こさないために、大切な子供と自分の命を守るためにも見直したいことだと考えますが…。

■書初めの展示が始まります

今日から二月三日(保護者参観は一月二十七日)まで教室前廊下に展示します。詳細は、六日配付の案内でご確認ください。

